

「気になる」家庭への関わり 研修会 全3回（往還型）



保護者と関わる中で、「何で伝わらないんだろう。」「どうやって関わっていけばよいのだろう。」と思ったことはありませんか？

この研修会では、「**ソーシャルワークの視点**」を、理論的・実践的に学びます。

「**気になる家庭**」について、一人で抱え込まずに、組織で対応していくための方法を、一緒に学んでいきましょう。



講師 酒井 珠江
県乳幼児教育支援センター
保育ソーシャルワーカー

対象：保育現場に係わる中堅層の職員等・行政担当者

研修内容：（研修時間は各回とも13:30～16:30）

第1回



ソーシャルワークの必要性について理解を深めます。

第2回



ソーシャルワークの視点をもとにした現場での対応を考えます。

第3回



関係者との連携を含めた、ソーシャルワークを組織で行う方法について学びます。

研修に参加して...



ディスカッションやロールプレイを通して、**色々な考えや実践で使える対応をリアルに共有することができた！**

研修に参加した職員さんから、「気になる」家庭について**連絡をもらい、市町での対応につながった！**



「ソーシャルワークの視点」とは

子供が抱える問題について、家庭や地域など環境との関係性に目を向け、その背景を踏まえて、多様な専門職や機関、地域住民などと連携・協働して子供と家庭を支援することです。

【お問合せ先】

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター（担当：坂谷）

申込はこちら



電話：(082)513-4978 メール：kyoyou.kenshu@pref.hiroshima.lg.jp